



合志市
ホームページ



合志市公式
Twitter

渋滞対策の強化を

道路整備の加速などを県に要望



中央左から、吉本孝寿菊陽町長、要望書を持つ蒲島郁夫知事、荒木市長（6月5日・熊本県庁）

6月5日、本市は菊陽町と共に、半導体関連企業の進出に伴い、更なる深刻化が懸念される渋滞への対策強化について、県に要望書を提出しました。要望書の提出には、市選出の高木健次県議、池永幸生県議、市議会文教経済常任委員会の辻大二郎委員長が立ち会いました。



本市と菊陽町が県に提出した要望書は、『セミコンテックパーク近隣における渋滞対策の強化について』と題し、次の5項目について、県の取り組みを求めるものです。

- 既存の交通アクセス強化石業の加速化
- 半導体産業の開発動向等を踏まえた交通アクセスの更なる強化
- 社会資本整備総合交付金重点配分にかかる国への要望
- 職住近接の推進のための規制緩和の実施
- ソフト対策の更なる強化

菊陽町への半導体製造世界最大手企業の進出を契機に、本市にも半導体関連企業等の進出が進んでいます。今後も半導体関連企業の更なる進出が予想され、大きな経済効果が期待される一方、渋滞の悪化や、交通事故の増加などへの不安の声も上がっています。

このため、セミコンテックパーク周辺地域で県が進めている県道の多車線化などの事業の早期完成、交通アクセスの強化に関する国の財政支援の重点配分を求めること、公共交通の利用や時差出勤の促進といったソフト対策の強化などを要望しました。

荒木市長は、「なるべく車を使わず車以外で通勤出来るようになれば、渋滞解消の一助になると思います」と述べ、職場と住居が近くにある『職住近接』を進める観点から、企業が住宅地等の整備を行えるよう規制緩和に取り組むことを求めました。



要望書に対し、蒲島知事は、「セミコンテックパーク近隣における早急な渋滞対策の必要性を改めて強く認識したところです。県道の多車線化など、出来る限り早期に整備効果が発現出来るよう取り組みを加速し、国に対しては、道路整備に必要な財政支援、交付金の配分などに格段の配慮を要望して参ります。半導体関連企業の進出・集積は100年に1度のビッグチャンスであり、その経済効果を最大限に生かしながら、住民が、“企業が来て良かった”と思える環境作りを両市町と一緒にやっていきたいと思っております」と述べました。

なお、蒲島知事は、6月12日に開かれた県議会の一般質問で、セミコンテックパーク近隣の渋滞対策として、国が整備を進めている中九州横断道路に、新たなインターチェンジの設置を目指すことを明らかにしました。



中九州横断道路 整備促進を大臣に要望

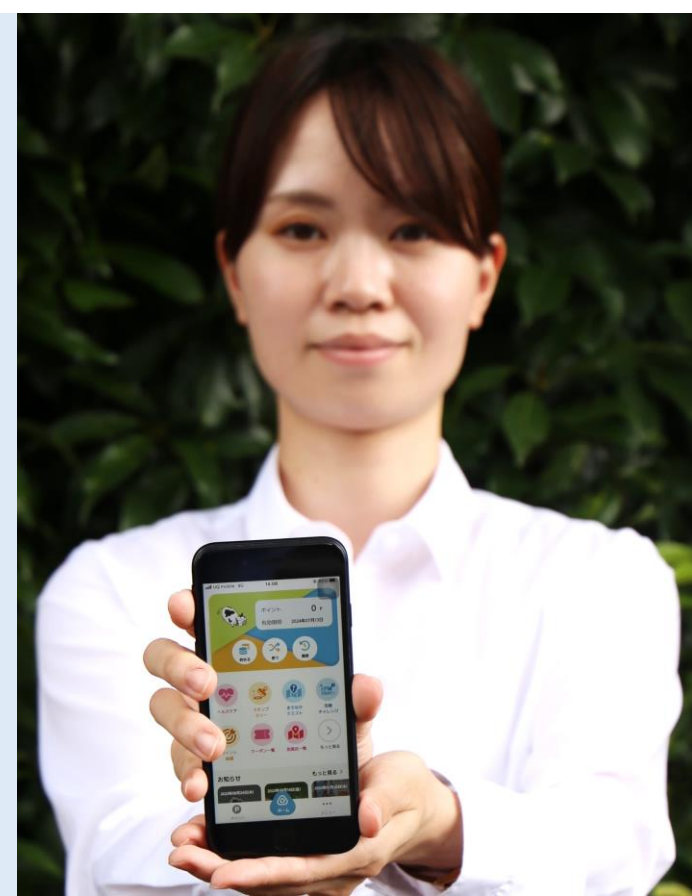
7月14日、荒木市長が会長を務める『中九州・地域高規格道路推進期成会』は、さいとう てつお 齊藤鉄夫国土交通大臣に要望書を提出しました。期成会は、中九州横断道路のうち、合志市を含む大津西・熊本間（大津熊本道路）など未整備区間の事業促進や、必要な予算の増額確保などを要望しました。



ほうざんきょう 台湾から宝山郷関係者が来庁

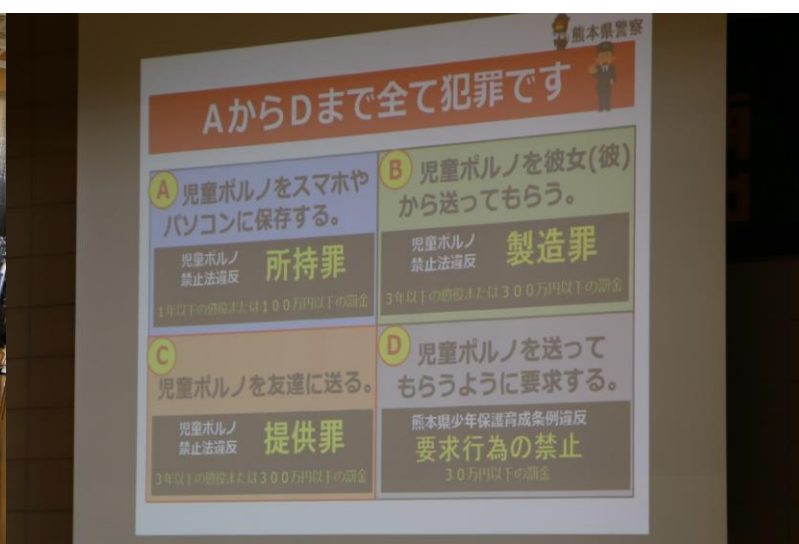
7月19日、TSMC本社が立地する新竹サイエンスパークを域内に持つ、台湾・宝山郷のキウ シンエイ 邱振瑋郷長他、行政関係者が合志市役所を表敬訪問しました。『郷』は台湾の自治体単位の一つで、日本の町村に相当します。一行は、荒木市長や市幹部職員と、渋滞対策などについて意見交換しました。





合志市地域ポイントアプリ『うえるこ』

6月14日、合志市地域ポイントアプリ『うえるこ』の配信がスタートしました。歩くなどの健康活動、地域の名所や公園などを巡ることで、ポイントがたまるなどの機能を備えています。『うえるこ』を使って健康活動量を計測し、参加者同士がバーチャルで気軽に楽しめる『バーチャルウォーキング大会』も始まりました。『うえるこ』について、詳しいことは市ホームページもご覧ください。



合志市電子ライブラリー利活用支援

夏休み前に“情報モラルを学ぶ”特別授業

7月18日、合志市と熊本日日新聞社は、熊本県警察と連携し、西合志南中学校で、全校生徒を対象とした『情報モラル教育特別授業』を行いました。

SNSやスマートフォンの普及など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、情報発信をめぐる責任や、他者の権利の尊重、情報社会におけるルールやマナーについて学ぶ、『情報モラル教育』が重要となっています。この特別授業は、新聞記事や写真を生かしたデジタルコンテンツ・

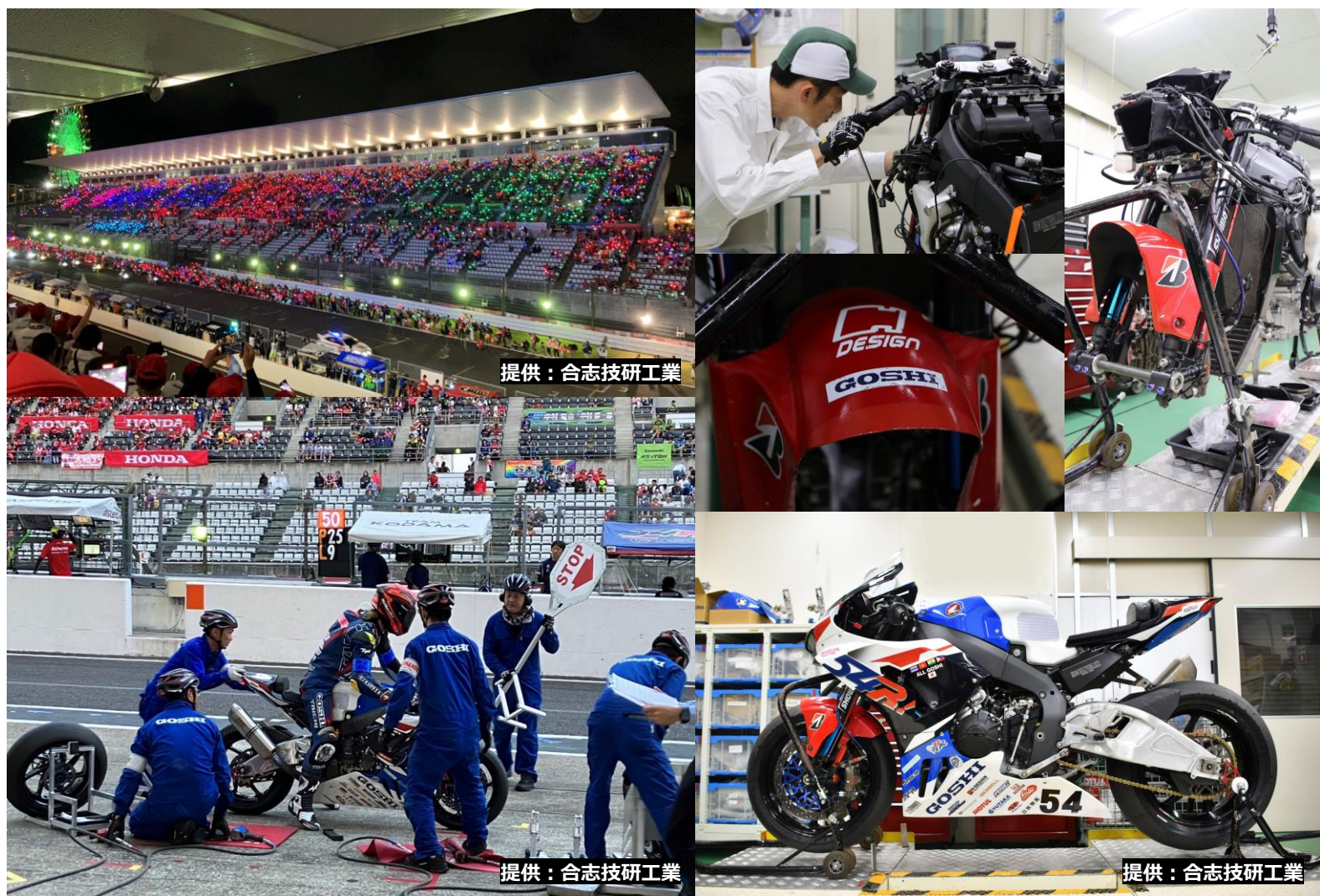
電子ライブラリー利活用支援の一環で開催したものです。

県警のサイバー犯罪対策課と、少年保護対策室の現役警察官が講師となり、実際に起きたトラブルや犯罪、SNSで情報発信するときの注意点などを紹介しました。講話の後、教室に戻った生徒たちは、各自のタブレットを開き、県警が取材協力して作られたコンテンツなどが収録されている電子ライブラリーを閲覧して、講話で学んだ内容の理解をさらに深めていました。

『GOSHI Racing』 今年も鈴鹿8耐参戦

合志市に本社がある合志技研工業の社内チーム『GOSHI Racing』。世界耐久選手権の一つで、日本最大のオートバイレース『FIM 世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久レース（鈴鹿8耐）』に2年連続で参戦し、8月6日の決勝レースを38位で完走しました。

序盤に転倒するアクシデントを乗り越えて、チーム力を見せた『GOSHI Racing』。今年も鈴鹿8耐で、合志市の名を轟かせました。



提供：合志技研工業

提供：合志技研工業

提供：合志技研工業

菊池恵楓園で 清掃ボランティア

6月11日、菊池恵楓園で、市民・協力団体による清掃ボランティアと、市商工会のクリーンキャンペーンを開催しました。市職員や商工会、包括協定団体の大学生、ボランティア連絡協議会、社会福祉協議会から約300人が参加し、園内の落ち葉を集めたり、周辺の道路のごみ拾いを行いました。



ひらしま 『平島の大太鼓』 修復を終え、お披露目

合志市の^{ひらしま}平島区に江戸時代中期から伝わる市指定有形文化財『平島の大太鼓』が修復を終え、7月30日、お披露目されました。熊本地震での被災から7年ぶりに復活した大太鼓。神事や、たたき初めで修復を祝い、力強い音色を響かせました。



ふるさと大使退任にあたり、荒木市長より感謝状を贈呈（7月19日・合志市役所）

元プロボクサー

たにやま かなこ

谷山 佳菜子さん

『合志市ふるさと大使』退任

辻久保区出身の元プロボクサーの谷山佳菜子さんが、平成27年9月から務めた『合志市ふるさと大使』を退任しました。3月1日に現役を引退したことに伴うものです。

高校1年生の時に正道会館熊本支部に入門し、フルコンタクト空手を始めた谷山さん。極真会館が主催する世界女子空手道選手権大会55kg級で2連覇という快挙を成し遂げた後、キックボクシングに転向し、数々のタイトルを獲得しました。しかし、足のけがで競技を続けることを断念。平成30年、プロボクシングに転向しました。令和3年には日本女子バンタム級の王座を獲得するなど、空手、キックボクシング、プロボクシングの全てで輝かしい実績を残しました。

『合志市ふるさと大使』就任から7カ月経った、平成28年4月に発生した熊本地震。谷山さんは、本市にファイトマネーを寄附するなど、“ふるさと・合志市”のことを常に思い続けてきました。

7月19日、市は感謝状贈呈式を行い、荒木市長が「長い間お疲れ様でした。PRも頑張っていたいただき、ありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。谷山さんは、「合志市の皆さんの応援が心の支えとなって、試合に挑めました。どこまでPR出来たのかわかりませんが、これからも“ふるさと・合志市”を思いながら生活し、何かある時は貢献したいと思います」と話しました。谷山佳菜子さん、本当にありがとうございました。



パンパスグラス かみのしょう (上庄)

皮をむくと現れる、ふさふさの穂が特徴のパンパスグラス。
JA 菊池管内では、36年前に旧合志町で栽培が始まり、
その後も合志市で盛んに栽培されています。お盆の切り花
として、8月初旬に出荷の最盛期を迎えました。



合志市の魅力
元気な農業



5月下旬、合志市内の農業ハウスで、白や黄色、
淡いピンクのトルコギキョウが咲き誇っていました。
熊本県内や福岡、関東、関西への出荷は、7月
末まで続きました。

トルコギキョウ むね (群)



4年ぶりに太鼓と笛が鳴り響いた。
たかば
竹迫観音祭

7月8日、五穀豊穡、産業振興、交通安全を願う『竹迫観音祭』が4年ぶりに行われました。約800年前から続く伝統ある祭りで、合志市指定文化財です。毎年7月の第2土曜日に行われ、「熊本県内で最も早い夏祭り」と言われています。

竹迫上町、下町、横町の3町の『ドランジャー』と呼ばれる台車を豪快に連結した後、観音堂の周りを何度か巡って奉納する様子に、地元は活気づいていました。『竹迫観音祭』については市ホームページもご覧ください。

